

福島県事業再開・帰還促進事業の運用等に係る指針に関する補足について

平成28年8月10日

福島県避難地域復興局

事業再開・帰還促進事業の運用等に係る指針については、平成28年5月30日付け28避第210号で通知しているところですが、事業の執行にあたり、補足すべき内容を取りまとめましたのでお知らせいたします。

1 帰還時必要物品等に係る割引実施事業及びプレミアム付事業再開・帰還促進事業における対象者について

帰還時必要物品等に係る割引実施事業（事業1）及びプレミアム付事業再開帰還促進事業（事業2）の対象者については、それぞれQ2-18、Q2-19、Q3-5において定めているところだが、例えば、震災当時A町の住民だった方が、B町に避難（住民票もB町に移動）している場合（A町及びB町がともに本事業を実施）、重複して対象となることが想定されることから、住民登録している者（B町において対象とする）を原則とする。

避難元から住民票を移していない避難者については、避難元の市町村において対象とする。

なお、対象市町村に住民登録をしておらず、宿舎等に長期間居住している者については、企業から居住の実態を確認できた場合に対象とすることができるものとする。

2 プレミアム付事業再開・促進券事業に係る市町村連携について

市町村連携については、Q3-1において定めているところだが、事業実施例については、以下を参考にしていきたい。

① A、B、Cの自治体が連携する場合

- ・ A自治体が発行する券はA自治体の住民のみが購入できる。
- ・ 使用はAの他、B及びCの自治体の取扱店でも使用可能。
- ・ 取扱店が換金をする場合は、換金申込書に購入者（A自治体の住民）より受け取った券を添えて、換金期間内にA自治体の指定金融機関で行う。

② 連携市町村の中から取りまとめ役となる市町村を決める。

③ 取りまとめ役の市町村を中心に、連携に伴い必要となる作業を行う。

- ・ 事業内容（割引額、プレミアム率、取扱店等）
- ・ デザイン（チラシ、商品券（発行自治体の見分けがつくようにする））
- ・ 券の購入方法
- ・ 換金方法（各自治体共通の複数指定金融機関を設定、自治体ごとの使用済み券は金融機関において振り分ける等） 等

② 他自治体の特定の店舗のみを取扱店に加える場合

A自治体がプレミアム付事業再開・帰還促進券事業を実施し、取扱店にA自治体内の事業者の他、B自治体にある大型スーパー1店舗のみを加えるような場合

B自治体と連携するまでの必要はなく、A自治体と当該店舗で券の使用に関して提携することで実施することが可能。

3 プレミアム付事業再開・帰還促進券事業における券への記名について

不正防止対策の観点から、Q3-25において券に記名することになっているが、次のような冊子方式で販売する場合には、冊子の表紙等への記名のみでも差支えない。

- (1) 券を冊子形式で販売（例 1,000円券×15枚）
- (2) 券1枚ごとに通番を印字
- (3) 券の購入者の氏名を表紙等に記名する。（記名については、予約販売方式により予め印字するか、もしくは購入時にその場で記名することとする。）
- (4) 使用の際は、取扱店に冊子及び本人確認書類等を提示し、券が譲渡されたもの等でないことの確認を受ける。

※綴られている券の通番を券の表紙に印字（「NO.1～15」等）することで、切り離れた券であっても表紙に記載されてある通番を確認することで使用可能とする。

4 プレミアム付事業再開・帰還促進券に係る本人以外の使用について

Q3-25において本人確認の方法について定めており、券の使用については、原則、本人のみの使用となるが、券の使用を家族等に委任する場合、市町村がその旨を証明する代理カード等を希望者へ発行すれば、当該カードを所持する者が委任した者の券を使用することができる。

5 プレミアム付事業再開・帰還促進券に係る指定管理制度を活用し運営するホテル等での利用について

券の取り扱い対象事業者については、Q3-6において定めているところだが、券を利用することで、長期的にはホテル等の利用拡大（地域の需要喚起）につながることから対象として差支えない。

6 集客効果を高めるイベント事業における1イベントの考え方について

1イベントの考え方については、Q4-5において定めているところだが、主催者が共同で一つの場所で行うイベントであっても、例えば、次のように3部構成でそれぞれ独立した趣旨のイベントと整理できる場合等については複数イベント（例示では3イベント）として計上しても差支えない。

【例】

(1) 第1部（ふれあいイベント、ふれあいステージ）10:00～14:30

地元事業者等による飲食ブースの設置により地域の需要喚起を図るとともに、様々な企画により、地元内外の方等との親睦を深めてもらうことや地元の良さを改めて実感してもらうことにより帰還を促す。

- ・ 展示
- ・ ワークショップ
- ・ ロードトレイン
- ・ ふれあいステージ 他

(2) 第2部（ステージコンサート）14:30～19:30

地元事業者等による飲食ブースの設置により地域の需要喚起を図るとともに、次の企画を実施することで、より集客効果を高める。

- ・ ステージコンサート（アーティストによるステージイベント）

(3) 第3部（プロジェクションマッピング、花火大会）19:30～

地元事業者等による飲食ブースの設置により地域の需要喚起を図るとともに、次の企画を実施することで、より集客効果を高める。

また、地元の復興への取組を広く発信する。

- ・ プロジェクションマッピング（復興と希望を題材にした映像と音による演出）
- ・ 花火（プロジェクションマッピングと連携）